

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.2
2014年度

発行 大阪維新の会・みんなの党
都構想推進大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391



大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機の府政報告

ながふじひでき

5月20日から6月6日まで、大阪府議会・平成26年5月定例会が開催されました。永藤英機(大阪維新の会府議団・教育部会長)は5月28日の本会議にて一般質問に立ち、松井知事並びに担当部長と議論を行いました。その質問内容と答弁の一部をご紹介します。

永藤英機 プロフィール

昭和51年7月13日生まれ(37歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。47都道府県、海外18都市を巡ることで大阪と国内外の都市を比較、大阪の可能性と希望を感じる。3年越しの願いが叶い、2011年4月、大阪府議会議員に当選。

一般質問

東日本大震災の復興支援

永藤議員

東日本大震災が発生してからこの3年間、大阪府は被災地に対してどのような支援を行ってきたのか。

危機管理監

発災後約8カ月の間にアルファ化米約20万食、毛布約4万枚の救援物資を被災地に提供した。また、避難所や県の救援物資集配拠点の運営支援のために、職員の派遣や大阪へ避難を希望される方への府営住宅の提供等を行った。

その後も被災地の復旧・復興支援に向けてハード・ソフト両面から幅広い職種の府職員を派遣して支援を続けており、本年度も引続き職員計27名を派遣している。

さらに大阪府市が連携して岩手県宮古地区の災害廃棄物約15,300トンを受け入れ、安全性を十分に確認の上、広域処理した。

永藤議員

今年4月に3年ぶりに被災地を訪れたが、現地の復興はまだ道半ばであり、大阪府からも継続的に支援を行っていくことが必要と考える。大阪府の今後の被災地への支援体制について知事に伺う。

松井知事

東北の被災地の一日も早い復興に向けて、大阪ができることは今後もしっかりとやっていくという思いにいささかの揺るぎもない。

本年3月に改訂した「大阪府地域防災計画」においても、被害の甚大な地域に対して、府として積極的に支援を行うことも明確に打ち出した。

今後とも、被災地のニーズをきめ細かくお聞きしながら府民と意思を一つにして、先の震災とその教訓を風化させることなくオール大阪で復興支援に力を注いでいく。

永藤英機の主張

東北地方と大阪は地理的には離れた場所にあるが、被災地の復興は日本の復興でもある。これからも意識を持ち続け、支援の手を差し伸べられるように要望する。



一般質問

百舌鳥・古市古墳群の 世界遺産登録に向けた取り組み

永藤議員

昨年一度挑戦をして見送られていることから、今回はその時に指摘された課題を確実に克服しなくてはならない。

来年春頃に再び推薦書原案を提出する必要があるが、国内推薦候補に選ばれるにあたって、どうやって課題を解決していこうと考えているのか伺う。

府民文化部長

グローバルな視点での世界遺産としての価値の証明、資産を保存管理する方策や体制の整備、緩衝地帯の具体的な規制内容の設定の三つが大きな課題。世界遺産や都市計画、考古学の専門家で構成する「推薦書作成検討委員会」で、推薦書の具体的な記載内容の精査を行っている。

また、宮内庁が管理する陵墓と、地元市等が管理する史跡の一体的な保存管理方法について、宮内庁・文化庁との三者協議を定期的開催するなど合意形成に向けた議論を進めている。緩衝地帯については4月に大阪府と地元市からなる推進本部会議において、緩衝地帯の範囲や建物の高さなどの具体的な規制方針を決定した。平成27年度に国内推薦に選ばれるためには、今年度中に、熟度の高い推薦書原案を作成することが重要であり、課題解決に向けて全力で取り組んでいく。

永藤英機の主張

私は日本が世界に対して本当に自信を持って推薦できる世界遺産は、今の国内暫定リストの中では百舌鳥・古市古墳群が最も相応しいと考える。登録の実現に向けて知事もこれまで以上に各方面への働きかけをしてほしい。

府政に関する相談やお問合せは 大阪維新の会 大阪府議会議員 永藤英機事務所

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1-7-3 栄橋ビル4階
TEL (072) 228-3331 FAX (072) 344-5676
E-Mail info@nagafujihideki.com ホームページ <http://nagafujihideki.com>

「永藤英機公式ブログ」にて日々の活動のご報告をしています。
(インターネットで「永藤」と検索してください) <http://ameblo.jp/nagafujihideki>